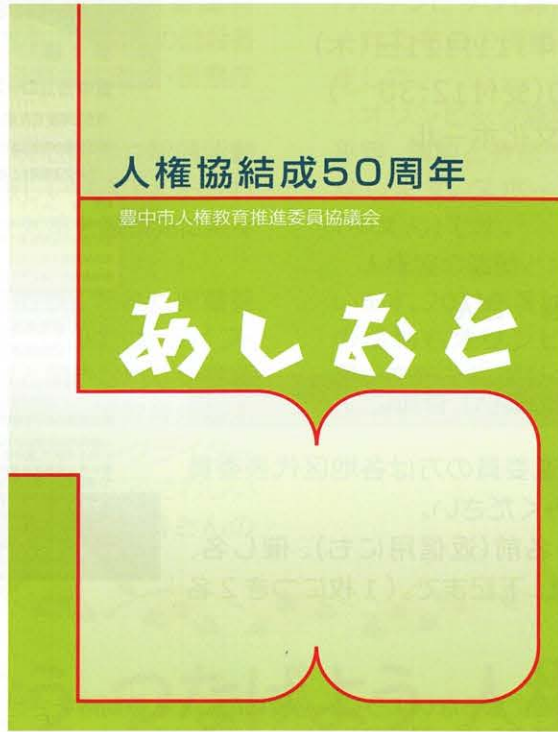




# じんけん

発行  
豊中市人権教育推進委員協議会  
機関紙編集部  
(豊中市教育委員会事務局社会教育課内)  
電話 06-6858-2580



## 巻頭言

## 51年目の一步を踏み出しました

会長 青木 康二

私ども豊中市人権教育推進委員協議会は、昨年(2020年)度に設立50年の歴史を刻みました。

そして「次の半世紀の第一歩」を踏み出そうと決意した本年度、34年間にわたって人権協とともに歩まれた島田忠雄前会長が勇退されました。その後任に就きました青木康二と申します。前会長のあしおと(記念誌タイトルより)には及びもつかない若輩ですが、人権協は精いっぱい第一歩を踏み出します。

1965年、同和对策審議会答申が提出されました。答申は「同和問題の解決は国の責務であり、国民的課題である」という内容でした。それを受けて国は、1969年に同和对策措置法を施行しました。そして、国や地方自治体が全力をあげて部落問題解決に向けて施策を打ち出しました。その流れの最中に、私たち人権協は立ち上がりました。1970年4月14日のことです。

きっかけは、豊中市民による和歌山県田辺市への身元調査依頼事件でした。これを受けた一市民が「このような部落差別の解決に向けては、人権教育をていねいに推し進めることが一番だ。学校では子どもたちに人権

教育が取り込まれるが、大人の人権教育をどうするかが課題だ」と提起され、その目的に賛同した41人の方々によって結成されたのでした。

それから50年の歴史を刻みました。人権問題や課題、市民の意識も随分と多様化しました。それでも、10数年前の卒業の日に、担任に呟いた生徒の言葉を忘れることができません。「先生、俺も将来結婚差別受けるのかな…」

現在、私たち人権協は会員4000人弱の市民組織です。その活動基本は「人権文化のまちづくりをすすめよう」「人権意識をより高めよう」「人権尊重の輪を広げよう」の三点です。具体的には「自己研鑽を深め、学んだことを自分だけのものせず周りの人に伝えよう」ということです。厳しいコロナ禍ではありますが、私たち大人が互いに学び合い、自分らしく生きやすい社会をつくれたらいいと思います。





# 人権教育をすすめる市民の集い

(豊中市人権月間参加事業)

## 開催要項

**主 旨** 豊中市人権教育推進委員協議会はすべての市民の人権意識を高め、より人権尊重の輪を広げるため「市民の集い」を開催します。

**開催日** 令和3年(2021年)11月11日(木)  
**時 間** 13:00 ~ 15:30(受付12:30 ~)  
**会 場** 豊中市立ローズ文化ホール

## プログラム

**意見発表** 七中校区  
**記念講演 講師** 新宮 晋 さん

### 「人権教育をすすめる市民の集い」参加について

「市民の集い」に参加ご希望の推進委員の方は各地区代表委員または常任委員に直接お申し込みください。

一般の方は往復はがきに住所・名前(返信用にも)、催し名、電話番号、参加人数を明記のうえ、下記まで。(1枚につき2名まで申込可)

10月22日(金)消印有効。抽選あり

- ★コロナウイルス感染症対策のため密にならないように、必要に応じて人数制限をさせていただきます。
- ★当日はコロナウイルス感染拡大を防ぐため、マスクを着用しこまめな手洗い、手指消毒をお願いします。
- ★当日、発熱・せき・のどの痛みなどのある方は参加をご遠慮ください。

### 参加申込(問合せ先)

〒561-8501 豊中市中桜塚 3-1-1  
豊中市人権教育推進委員協議会事務局(社会教育課内)  
電話 06-6858-2580 FAX 06-6846-9649

**人権教育をすすめる市民の集い**  
主催：豊中市人権教育推進委員協議会 共催：豊中市・豊中市教育委員会

**日 時**  
2021年11月11日(木)  
13:00~15:30  
(受付12:30~)

**会 場**  
豊中市立ローズ文化ホール  
阪急宝塚線「庄内」駅から徒歩約500メートル  
●駐車場の用意はありません。  
●公共交通機関をご利用ください。

新宮 晋 しんこう すずむ (造形作家 絵本作家)  
豊中市生まれで東京芸術大学を卒業後、ローマ国立学校で学び、風や水など自然エネルギーで動く立体作品を数多く制作。日本や世界各地で展示されています。豊中市内にもたくさんあり、庄内体育館・ローズ文化ホールの「翼のついで」、野田図書館前の「白い雲」、豊中高校の「風と光」などが展示されています。

**プログラム**  
意見発表 七中校区  
記念講演 講師 新宮 晋 さん

**入場無料**  
詳しくは下記問合せ先へご連絡ください。  
★手話通訳・筆記通訳・保育あり  
豊中市は障害者に対する理解を深め、誰もが安心して生活できるまちを目指しています。  
障がい者差別禁止、差別解消法  
国連障害者権利条約

**申込方法**  
推進委員の方は各地区代表委員または常任委員に直接お申し込みください。  
一般の方は往復はがきに住所・名前を明記のうえ、下記まで。(1枚につき2名まで申込可)  
〒561-8501 豊中市中桜塚 3-1-1  
豊中市人権教育推進委員協議会事務局(社会教育課)  
10月22日(金)消印有効。抽選あり

問合せ先 豊中市人権教育推進委員協議会 事務局 豊中市教育委員会事務局社会教育課内  
場 所 豊中市中桜塚3丁目1番1号 豊中市役所 第一庁舎6階  
電 話 06-6858-2580 F A X 06-6846-9649  
後援：豊中市PTA連合協議会 豊中市公民館協議会 豊中企業人権啓発推進委員協議会  
豊中市婦人団体連絡協議会 豊中市青少年健全育成協議会 豊中市社会福祉協議会

## 第二回推進委員研修講座のご案内

**日 時** 令和3年(2021年)10月21日(木)  
10:00 ~ 11:30  
**会 場** 豊中市教育センター(研修室1, 2)  
阪急蛍池駅直結 ルシオーレビル6階  
**テーマ** すべての子どもが輝く学校をめざして  
**講 師** 矢木 克典 さん  
大阪薫英女学院中学校・高等学校  
企画広報部参事 (元蛍池小学校・第十七中学校校長)

会場参加 定員40名!  
ZOOM参加あり  
いずれも申込締め切りは  
10月15日(金)

※コロナ対策の為、会場参加は人数を制限しての完全予約制とさせていただきます。  
お申込み・お問い合わせは人権協事務局まで。ZOOM参加ご希望の方は人権協アドレスまで  
お名前・学校区・電話番号をご入力の上、お申し込みください(電話での受付は会場参加のみとさせていただきます。)



人権協結成50周年という2020年は、新型コロナ感染拡大防止のため二度に渡る非常事態宣言が出されました。東京オリンピック・パラリンピック大会を始めとして、あらゆるイベントが中止または延期されるなどの自粛要請がなされ、手洗いマスクの励行、不要不急の外出制限など、大きく市民生活も様変わりをしました。

また、コロナ禍での偏見や差別、生活困窮者や失業者の増加、子どもの貧困などが拡散され、児童虐待144,000件、自殺者21,081人、うち小中高校生の自殺者499人と事態は深刻です。(3月17日厚生労働省・警察庁発表)

人権協も総会や参与の会、地区現地研修や駅頭活動などの大半が中止になりました。厳しい状況下におかれましたが、「市民の集い」は感染防止対策を最優先に粛々と実施することができました。

五中校区の意見発表では、校区につくられた児童養護施設「翼」についての報告でした。施設では「ライフ・ストーリーワーク」「権利ノート」など聞きなれない言葉ですが、自主性や自己肯定感を高める人権教育が基本理念にあることを知りました。シンガーソングライター佐藤竹善さんによる記念講演、50周年記念にふさわしい彩(いろどり)を添えていただきました。竹善さんの

柔らかい歌声、池田なみ子さんとの軽妙な対談は、コロナ禍にあって清爽(せいそう)な一陣の風が会場を満たしました。

延期された東京オリン・パラリンピックが7月に予定されています。オリンピック組織委員会会長は、残念な女性蔑視発言により辞任しました。さらに開会式の演出をめくり総括担当が出演予定者の容姿から「オリンピックグ(豚)」というキャラクターを提案、一蹴されたものの機能しないガバナンスに批判が殺到しました。

オリンピック憲章はスポーツを通じて、ジェンダー平等、調和と多様性、人間の尊厳を保つことに重きをなします。スポーツが人権の実践と言われる所以(ゆえん)です。

人権協の活動とオリンピック精神は理念を共有しています。2021年度はコロナ感染収束を願いつつ、人権協の活動もオリンピック精神に共感する活動として、思いを新たに学びのきっかけにしていきたいと思います。

## つなごう つなげよう 人権の輪

### 人権について思うこと

十一中校区常任委員 立花 由美

小学校の頃、人権学習を受けて覚えているのは「部落差別をしない、日本人以外の人もみんな同じ」ということを習ったことです。

今、人権というと「インターネットで人を傷つけるような内容は投稿しない」「ゲームをしていて攻撃的な言葉を使わない」など、とても身近になり、子どもから大人まで誰もがすぐに加害者や被害者になり得る状況です。そのため、家庭でも学校でも、普段から人権について話をしていく必要があると感じています。

常任委員の活動を通して、色んな人と身近なところから人権について対話をしていきたいと思っています。

### じんけんとわたし

十三中校区常任委員 荒川 由美子

2011年に小学校区の地区代表委員として人権協に参加し、10年目に常任委員をさせていただくことになりました。10年経って、私が劇的に成長したかということそうでもないのですが、申し訳なくりますが、とにかく楽しく参加させていただいています。

私にとって「人権」とは「難しいことではなく、身近なこと。家族に感謝して、大切にすること」だと思っています。そしてその気持ちを、周りの人にも、その周りの人にも、さらにその周りにも広げられる意識を持ちたいと思います。



# 学校では今

豊中市立豊島北小学校長 西谷 誠

私は、入学式で子どもたちに「3つのお願い」をお話します。1つ目は「あいさつをすること」登校したときに『おはようございます』と元気にあいさつできたら、1日を気持ちよく過ごすことができます。あいさつは不思議な力を持っています。2つ目は「早寝・早起き、朝ごはんを食べること」お家の方に協力してもらいながら、がんばってみてください。3つ目は「みんなと仲良く楽しく過ごすこと」勉強も遊びも仲良くすることから始まります。そして、相手の気持ちを考えることで、楽しく過ごすことができます。そう伝えると子どもたちは、目をキラキラさせながら「はい!」と返事をしてくれます。そして次の日から、校門に立っている私に元気よくあいさつをして「朝ごはん食べてきたよ」と話をしてくれます。

毎年のことですが、「子どもたちはすごいな、素晴らしいな」と感激します。そんな日常を一変させたのが「新型コロナウイルス感染症」です。身体的な影響も心配ですが、なにより「人と人の心を遮断してしまう」ことが大きく辛かったです。マスクの着用や、距離をとりながらの学校生活は、これからも続くでしょう。会えないときはオンラインでつながり、そして、学校で会えるときは、これまで以上に子どもたちどうしがつながること。私たちに課せられた新たなテーマに、これからも取り組んでいきたいと思ひます。



人権協のHPがオープンします!!

<https://toyonakajinkenkyou.com/>



↑こちらから

- 人権協とは
- 組織図
- 地区委員会所在地
- 豊中市人権擁護都市宣言
- 記念誌
- 年間行事
- 写真で綴る人権協活動
- 機関紙「じんけん」
- 人権作品紹介

- 豊中市人権教育推進委員協議会
- 人権協について
- どんなことをしてるの?
- お知らせ
- 様式ダウンロード
- お問い合わせ
- 視察研修教材の貸出について

## ようこそ人権協へ

人権文化のまちづくりをすすめよう  
人権意識をより高めよう  
人権尊重の輪を広げよう



## 編集後記

みんなが新型コロナ感染症の拡大と向き合っている中、大阪は4度目の緊急事態宣言となり、変異株の感染が急拡大しています。「3密・ソーシャルディスタンス・新しい生活様式」という言葉も耳慣れた世の中になっているように、思えてなりません。コロナは正しく恐れることが大事です。50周年記念誌の発行に続き、今年はホームページの設立も間もなくです。乞うご期待ください。

最後になりましたが、機関紙「じんけん」161号の編集にあたりご投稿いただきました皆様に心よりお礼申しあげます。

副会長 渡邊 美代子